

8, 10

「 毎日の暮らしの中で何ができるか 」

環境アドバイザー

上領 園子

対象 ゆずの里ケーブルテレビ契約家族

所要時間



15分

場所 ゆずの里ケーブルテレビ

実施時期

令和3年7月1日

～7月31日

概要

企業の作る責任、消費者の使う責任、倫理的消費が問われている。将来世代への予測されている負荷を知り、今生きている者の責任として何ができるか小さなことから始められる。

プログラムの

毎日の暮らしの中で消費者として未来世代に対して今生きている者の責任として何ができるかを伝える。

ねらい

毎日の暮らしの中で少し考えて行動すれば環境に配慮した暮らしができる事

プログラムの内容

1 7月1日から31日まで毎日午後3時から（15分）

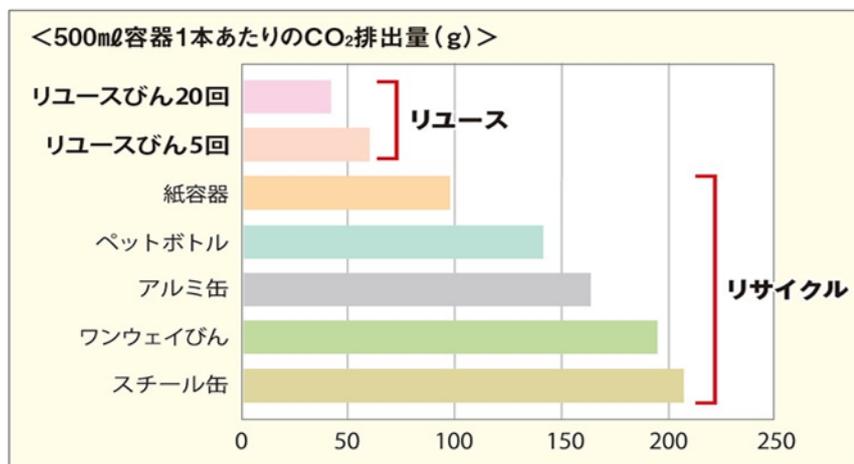
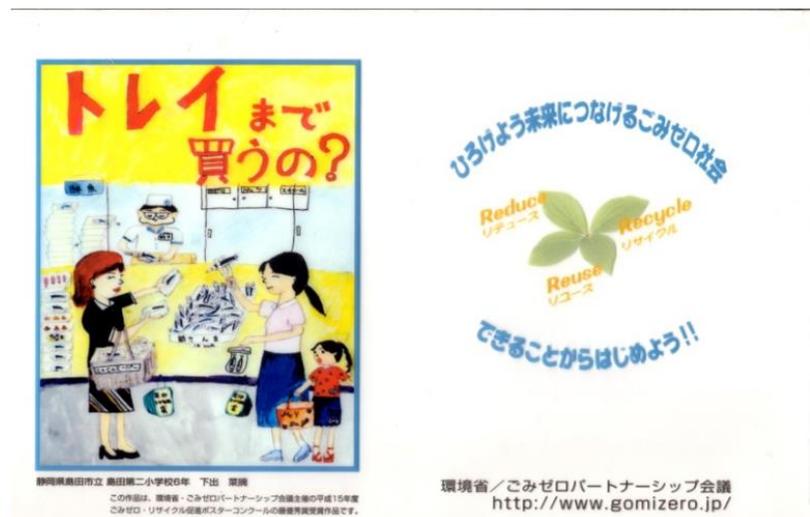
2 7月1日から31日まで毎日午後9時15分から（15分）

- 企業は作る責任、消費者は使う責任
- 町のリサイクル費用の負担
- 資源有効促進法について
- 倫理的消費（エシカル消費）が問われています
- 服飾の倫理消費
- レジ袋が有料化した
- トレーも買うの
- 2000年当時の東大の研究発表ペットボトルを繰り返し使うビンに変えると、CO₂・処理費用・廃棄物を削減できる話
- リユース壺とその他の容器包装生産から廃棄までのCO₂排出用の比較
- 町が支払っているリサイクル費用
- ペットボトルのリサイクル

受講者の反応

「ゆずの里ケーブルテレビを見ました。データをよく使い説得力のある話、勉強になります」という感想を頂きました。

環境学習の様子（写真）



データ：LCA手法による容器間比較報告書より リユースびんの5回、20回は再使用回数。

※LCA：ライフサイクルアセスメントの頭文字。
 資源の採取から製造、流通、消費、廃棄までトータルでの環境影響を評価する手法